

アパレル工業新聞

《細胞》卷 1 期 1 日期

ヘルノなど先進的取り組みに触れる



学生の作品を容赦なく“解体”して修正の実演を行うマリオ・アルゼンティエーリ氏

# セコリ（ジャパン）スクールがイタリア研修

業界との関係深いセコリ校

20

卷之三

100

係にある。

今回、そのことをイタリア研修初日に経験する。この日、日本からの袖をほどき始めた。訪問者を待っていたのは、いよいよ身頃に問題のマリオ・アルゼンティエ。すると見て、身頃のバーリ氏。二年前までドルスから修正を始めたチエ&ガッバーナ(D&G)のチーフモダリストだ。その後、後ろ肩を務めていた人である。セヨリの学生が作成したメンズのトワル四体を修正する実演を行った。スモールカラーフト、ショールカラーフトを実演。結局、十一時半

「アンチ」だったが、四年後だった。  
「話に「ヴェルサーチ」に移  
なり、カボ・モデリスト  
と（チーフモデリスト）に  
あつた。この間、セコリ  
では婦人、子供服、タイ  
のミンクとスツッド、ブロ  
グラミングを終つた。  
年にD&Gに入り、二〇  
一五年までカボを務め  
た。現在セコリで週一、年ほど前、日本から派  
正な三日、授業を受け持つ機  
会から、アバレルのコンサル  
を受けた名古屋校の野口  
村陽子講師、中北浩師  
アンナ先生と久しぶりの  
再会を果たした。

D&Gの元「カボ」が実演

されてアンナ先生の授業を受けた名古屋校の野々村陽子講師、中北講師、アンナ先生と久しうりの再会を果たした。